

6

お医者さんと話す前に、 カラダのメモが重要

まず、病気やけがなどのカラダの^{いへん}異変が「いつから」「どこに」「どのような」状態なのか、そして病気やけがをしてから病院に来るまでに「どのような変化」があったのかをメモに書いて^{せいり}整理しておくことを心がけましょう。もちろん、今までの病歴や現在治療中の病気、飲んでいる薬があればそれは必ず伝えてください。またアレルギーや重大な病気などが本人だけでなく、本人以外の家族にある場合もそれが^{じゅうよう}重要な^{じょうほう}情報になります。

お医者さんに聞きたいこともあらかじめ書き出しておくといいでしょう。1回ですべてが聞けるとは限りません。そのときに聞くこと、日時をあらかじめ聞くことなど、^{ゆうせんじゅんい}優先順位をつけておくといいでしょう。

お医者さんも常に患者さんのカラダの状態を^{はあく}把握できているわけではないので、できる限りカラダのことを伝えて、わからないことがあったら^{えんりょ}遠慮なく聞く。病気やけがの治療を^{いっしょ}一緒に考えるパートナーとして相談するのが、上手なお医者さんのかかり方です。

